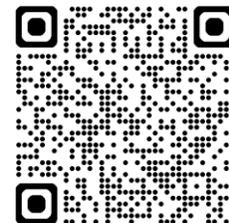


次期公的年金シミュレーターの概要

- 公的年金シミュレーターは、ねんきん定期便の二次元コードを読み取るなどして将来の年金受給見込額を簡単に試算でき、働き方や暮らし方の変化に応じた年金額の変化も試算できる。令和8年4月に老齢年金シミュレーターの大幅な改善に加え、障害年金やiDeCoの試算機能を追加しリリースする予定。
- 現行の公的年金シミュレーターを利用して、実際に試算を行った回数は令和8年2月末時点で1168万回超。



■ 公的年金シミュレーターの特徴

【簡単でスムーズな操作性】

- ・ ID・パスワードは不要で、すぐに試算を始めることができる。
- ・ 「ねんきん定期便」の二次元コードを利用すれば、よりスムーズに入力が可能。

【グラフを表示しながら試算できる】

- ・ スライダーを動かすと年金額の変化が一目で分かる。

【データ管理も安心・安全】

- ・ 個人情報は記録、保存されない。

■ 公的年金シミュレーターの使い方



STEP 1 「ねんきん定期便」の二次元コードをスマートフォンから読み込む

STEP 2 試算する年金の種類と生年月日を入力し「試算する」をタップ

- ①試算する年金を入力
- ②生年月日を入力
- ③試算を始めるをタップ
- iDeCo試算を始める場合

STEP 3 将来の年金受給見込み額がパッと表示されます！

簡単に条件変更が可能！

スライド

スライダーの移動やカーボタンのタップ、数字の直接入力で、「今後の平均年収」、「退職する年齢」、「年金を受取る年齢」が簡単に変更できます。

※試算する年金の種類により変更できる項目が異なります。

次期公的年金シミュレーターによる障害年金・iDeCo試算機能

公的年金シミュレーターは、現役期における障害年金の受取見込み額の大まかな試算や、国民年金の被保険者が加入できるiDeCoに加入した際の積立額や取崩し額についてシミュレーションする機能が追加されている。



障害の程度(1級～3級)に応じて、**障害年金の大まかな障害年金見込額を一括で試算可能**。障害の程度を調べたい場合には「障害の程度」ボタンをタップして調べることが可能。

障害年金の手続の相談にスムーズに移行できるよう「日本年金機構公式サイト 年金のご相談(電話・窓口)」を案内。



iDeCo積立・運用での将来受け取り見込額の結果についてはグラフ及び数字で表現され、グラフ直下にあるスライダーを動かすと年金額がリアルタイムで変化し、一目でわかる。

iDeCo積立・運用での将来受け取り見込額を試算するための4つの重要な要素である「**積み立て終了年齢**」、「**受け取り開始年齢**」、「**毎月の掛金額**」、「**運用利回り**」を変更することにより、将来受け取る年金額の増減を簡単に試算することが可能。

次期公的年金シミュレーターによる将来の老齢年金見込み受給額試算について

「公的年金シミュレーター」は、将来受け取る年金見込み受給額を固定して表示するだけでなく、個々人の働き方暮らし方の変化による多様なライフコースに応じた様々なパターンの年金見込み受給額を簡単な入力で試算・表示することが可能。



年金見込み受給額試算の結果についてはグラフ及び数字で表現され、グラフ直下にあるスライダーを動かすと年金額がリアルタイムで変化し、一目でわかる。

将来受け取る年金見込み受給額を決定する3つの重要な要素である「今後の平均年収」、「退職する年齢」、「年金を受け取り始める年齢」を変更することにより、将来受け取る年金額の増減を簡単に試算することが可能。

The screenshot shows the '働き方の入力' (Work Style Input) section. It includes a '職業' (Occupation) dropdown menu with options like '自営業・フリーランス' (Self-employed/Freelance), '学生・働いていない' (Student/Not working), 'パート・アルバイト' (Part-time/Temporary), and '会社員・公務員' (Company employee/Public servant). Below this are input fields for '会社員・公務員の期間' (Company/Public servant period) and '会社員・公務員期間の平均年収' (Average annual income during company/public servant period).

個々人の働き方・暮らし方による多様なライフコースに対応するため、働き方・暮らし方、働く期間、年収を直接入力し変更することにより、年金見込み受給額を試算することが可能。

(注) 公的年金シミュレーターは、年金額を簡易に試算することを目的としており、実際の年金額とは必ずしも一致しません。より正確な年金見込み額の確認をする場合には、日本年金機構の「ねんきんネット」の活用をご検討ください。